

(解答・配点)

問題号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自己採点欄
第1問 (6)	1	1	①	2	
	2	2	①	2	
	3	3	①	2	
小計					
第2問 (10)	1	4	②	2	
	2	5	③	2	
	3	6	②	2	
	4	7	①	2	
	5	8	①	2	
小計					
第3問 (9)	1	9	④	3*	
		10	①		
		11	③		
		12	②		
2	13	②	3		
3	14	③	3		
小計					
第4問 (12)	1	15	①	3	
	2	16	④	3	
	3	17	③	3	
	4	18	②	3	
小計					
第5問 (16)	1	19	②	3	
	2	20	①	3	
	3	21	①	3	
		22	③	2	
	4	23	③	2	
5	24	⑤	3		
小計					
(注)					
1 *は、全部正解の場合のみ点を与える。					
2 - (ハイフン) でつながれた正解は、順序を問わない。					
問題号 (配点)	設問	解答番号	正解	配点	自己採点欄
第6問 (18)	1	25	④	3	
	2	26	①	3	
	3	27-28	①-④	3*	
		29	④	3	
	4	30	④	3	
5	31	②	3		
小計					
第7問 (15)	1	32	④	3*	
		33	①		
		34	⑤		
		35	③		
	2	36	③	3	
3	37	③	3*		
	38	①			
4	39	①	3		
5	40	②	3		
小計					
第8問 (14)	1	41	②	2	
	2	42	②	3	
	3	43-44	②-③	3*	
	4	45	④	3	
	5	46	③	3	
小計					

第1問

解答

問1-① 問2-① 問3-① (各2点)

出典 Original Material

全訳

あなたはカナダにいる交換留学生で、ホームステイ先の家族はあなたを日帰り旅行に連れて行きたいと思っています。ホームステイ先の母親があなたに利用可能なツアーについての情報を提供してくれました。

プリンスエドワード島 (PEI) 観光ツアー  
メイプルツアーズの3つの旅行計画から選択する

モンゴメリツアー

『赤毛のアン』の作者であるルーシー・モード・モンゴメリ — 彼女の著作はこの島の自然と人々に触発されました — について学びます。1901年に建てられ、1940年にモンゴメリが埋葬されたキャベンディッシュ・ユナイテッド・チャーチからツアーは出発します。次に「赤毛のアン博物館」を訪れ、モンゴメリの所持品を見学します。博物館はもともとモンゴメリの親戚の人たちにより1872年に建てられた家屋でした。最後に、モンゴメリが教鞭を執った学校を訪問します。このツアーは、みんなこのPEIで育ったガイドたちが案内します。

PEIの景観を眺めながらのドライブ

この島の美しい風景と自然を体験しましょう。地元のガイドが宿泊先から直接あなたを車に乗せてくれます。まず、チャールストン大通りを通して、1847年完成のプロビンスハウスと、カナダの建国につながった1864年のシャーロットタウン会議跡地を通ります。それからプリンスエドワード島国立公園を訪れ、その後、ロブスター漁の村であるノースラスティコに立ち寄ります。そこのレストランでおいしいロブスターを食べてみてください。

シャーロットタウンの食のハイライトをめぐるウォーキングツアー

シャーロットタウンを歩いて探検しましょう。ガイドは生まれてからずっとPEIで暮らしてきたので、おいしい地元の食べ物に目を留めて試食しながら、シャーロットタウンの史跡を紹介してくれます。海に近いピークスワーフからツアーに出発します。この倉庫群は1872年に建てられ、今ではレストランやギフトショップになっています。アイスクリームを食べてみてから、ファーマーズマーケットに移動しましょう。地元の農家に会って新鮮でおいしい農産物を手に入れてください。通りを散策してから、この島で最も長く営業しているレストランであるカントンカフェで食事をします。各オーナーは1950年代にカナダへと移住してきて、1970年にそれぞれの中華レストランを開きました。

設問解説

問1 1 正解①

「プリンスエドワード島には1がある」

- ① 歴史的に重要な会議が開かれた場所
- ② カナダのもっとも有名な女性作家によって創立された学校
- ③ カナダで開店した最初の中華レストラン
- ④ 18世紀以来商品を貯蔵するために使用されてきた倉庫群

正解は①。2つ目のツアーである「PEIの景観を眺めながらのドライブ」の第3文(First, we will ...)に「まず、チャールストン大通りを通して、1847年完成のプロビンスハウスと、カナダの建国につながった1864年のシャーロットタウン会議跡地を通ります」とあるが、シャーロットタウン会議跡地は選択肢①の「歴史的に重要な会議が開かれた場所」と考えられることから、正解は①となる。

②に関しては、カナダの女性作家である『赤毛のアン』の作者ルーシー・モード・モンゴメリと彼女が教鞭を執った学校のことは1つ目のツアーである「モンゴメリツアー」で言及されているが、モンゴメリが創立した学校については述べられていないので不可。

③に関しては、中華レストランは3つ目のツアーである「シャーロットタウンの食のハイライトをめぐるウォーキングツアー」で言及されているが、「カナダで開店した最初の中華レストラン」であるとは述べられていないので不可。

④に関しては、倉庫群は3つ目のツアーである「シャーロットタウンの食のハイライトをめぐるウォーキングツアー」で言及されているが、その第4文(These warehouse buildings ...)で「この倉庫群は1872年に建てられ、今ではレストランやギフトショップになっています」と述べられていることから、今では商品を貯蔵するために使用されているわけではないことがわかるので不可。

問2 2 正解①

「3つのツアーのすべてで、あなたは2ことになる」

- ① この島に住んでいるガイドに案内してもらう
- ② この島の出身である有名な人々について学ぶ
- ③ もっとも大きな都市であるシャーロットタウンの中心部を見学する
- ④ さまざまな代表的な地元の食べ物を試食する

正解は①。1つ目のツアーである「モンゴメリツアー」の最終文(The tour will ...)では「このツアーは、みんなこのPEIで育ったガイドたちが案内します」と述べられ、2つ目のツアーである「PEIの景観を眺めながらのドライブ」の第2文(Your local guide ...)では「地元のガイドが宿泊先から直接あなたを車に乗せてくれます」と、そして3つ目のツアーである「シャーロットタウンの食のハイライトをめぐるウォーキングツアー」の第2文(Your guide has ...)では「ガイドは生まれてからずっとPEIで暮らしてきたので、おいしい地元の食べ物に目を留めて試食しながら、シャーロットタウンの史跡を紹介してくれます」と述べられていることから、3つのツアーすべてにおいて地元出身のガイドが案内してくれることがわかる。よって正解は①となる。

②に関しては、1つ目のツアーである「モンゴメリツアー」ではカナダの有名な女性作家である『赤毛のアン』の作者ルーシー・モード・モンゴメリについて学ぶことがわかるが、他の2つのツアーでは「この島の出身である有名な人々について学ぶ」ことが述べられていないので不可。

③に関しては、1つ目の「モンゴメリツアー」がシャーロットタウンで行われるとの記述がないので不可。

④に関しては、2つ目のツアーである「PEIの景観を眺めながらのドライブ」ではロブスターを食べること、また3つ目のツアーである「シャーロットタウンの食のハイライトをめぐるウォーキングツアー」では地元の食べ物やアイスクリームを試食することやカ

フェで食事することが述べられているが、1つ目のツアーである「モンゴメリツアー」では試食に関する記述はないので不可。

問3 3 正解①

「これらのツアーで見学することになる中で最も古い建物はどれか」3

- ① プロビンスハウス
- ② 赤毛のアン博物館
- ③ カントンカフェという中華レストラン
- ④ キャベンディッシュ・ユナイテッド・チャーチ

正解は①。1つ目のツアーである「モンゴメリツアー」では、1901年に建てられたキャベンディッシュ・ユナイテッド・チャーチから出発することと、「赤毛のアン博物館」がもともとモンゴメリの親戚の人たちにより1872年に建てられた家屋であったことが述べられている。2つ目のツアーである「PEIの景観を眺めながらのドライブ」では、カナダの建国につながった、1847年完成のプロビンスハウスについて言及されている。そして3つ目のツアーである「シャーロットタウンの食のハイライトをめぐるウォーキングツアー」では、1970年に開店した中華レストランについての言及がある。以上の中で最も古い建物は1847年完成のプロビンスハウスであることがわかるので正解は①ということになる。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

◇ exchange student 「交換留学生」

◇ available ㊦ 「利用可能な」

[本文]

◇ sightseeing ㊦ 「観光」

◇ itinerary ㊦ 「旅程表；旅行計画」

◇ *Anne of Green Gables* はルーシー・モード・モンゴメリ作の長編小説『赤毛のアン』の原題。

◇ be inspired by ... 「…に触発される」

◇ bury ㊦ 「…を埋葬する」

◇ relative ㊦ 「親戚；親類」

◇ conduct ㊦ 「…を案内する」

◇ bring up ... 「…を育てる」

◇ scenic ㊦ 「景色の(すばらしい)」

◇ scenery ㊦ 「風景」

◇ pick ... up 「…を車に乗せる」

◇ accommodation ㊦ 「宿泊施設」

◇ conference ㊦ 「会議」

◇ formation ㊦ 「設立」

◇ on foot 「徒歩で」

◇ point out ... 「…に注目させる」

◇ sample ㊦ 「…を試食する」

◇ warehouse ㊦ 「倉庫」

◇ produce ㊦ 「農産物」

[設問文・選択肢]

◇ found ㊦ 「…を創設[創立]する」

◇ be used to - 「-するために用いられる」

◇ take ... around 「…を案内して回る」

第2問

解答

問1 - ② 問2 - ③ 問3 - ② 問4 - ① 問5 - ① (各2点)

出典

Original Material

全訳

あなたはまもなくイギリスへ行き、その大学で勉強することになります。あなたは、その大学を最近卒業した人によって書かれた学生用銀行預金口座についての記事を読んでいるところです。

最近のほぼすべての銀行は特別な「学生銀行口座」を提供しており、そうした口座は通常の口座保持者では利用できないサービスを提供しているので、私は申請することを強く勧めます。

私の口座はアルファ銀行にあります。新規の顧客を呼び込むために、9月に口座を開設すると、3年間の鉄道の学生割引証を提供しています。この鉄道割引証は120ポンド分の価値があり、保持者は鉄道料金を30%引きにすることができます。他には現金のギフトを提供してくれるところもあります。たとえば、ウェイバリー銀行はすべての新しい学生用口座に50ポンドを入れてくれますし、フェニックス銀行は40ポンドを提供しています。

オンライン銀行やデビットカードに加えて、すべての学生用口座は低金利のクレジットカードを支給し、金利ゼロの短期ローンを提供しています。先月、私のアルバイトの給料が遅れましたが、私はアルファ銀行から1週間、利息なしで100ポンドを借りました。銀行の中にはもっと高い上限を認めているところもあります。ウェイバリー銀行とフェニックス銀行の顧客はそれぞれ利息なしで最大200ポンドと300ポンドを借りることができます。

ほとんどの成人用銀行口座は毎月最大10ポンドの手数料を請求しますが、学生用銀行口座はたいがい安い価格か無料で利用できます。私の銀行は月に2ポンド請求しますが、ウェイバリー銀行とフェニックス銀行は無料です。しかし、私の銀行はATMでの現金引き出しには、その2つの他の銀行とは異なり、まったく料金を請求しません。

アルファ銀行独自の利点は、卒業まで無料の旅行保険を提供してくれることです。これは、私が旅行好きであることから、私にとってはすばらしいものです。私は先月、パリへ旅行に行き、カメラを盗まれてしまいました。私は新しいカメラを買うためにいくらかのお金を取り戻すことができました。もっとも、そのお金がもっと速く届いて、手続きがもっと簡単であればよかったですけれども。

それぞれの口座がさまざまな利点やサービスを提供していますので、学生用銀行預金口座を選ぶ前に自分自身に必要なものについて考えておいてください。

設問解説

問1 4 正解②

「記事によれば、以下のどれが本当か」 4

- ① 言及されているすべての銀行預金口座はATMの無料引き出しを認めている。
- ② アルファ銀行の新しい学生の顧客へのギフトがもっとも金銭的価値がある。
- ③ アルファ銀行とウェイバリー銀行は共に旅行保険を提供している。
- ④ ウェイバリー銀行とフェニックス銀行だけが金利ゼロのローンを提供している。

正解は②。第2段落第1文(My account is ...)～第3文(These railcards are ...)から、筆者が利用しているアルファ銀行は120ポンドに相当する鉄道の学生割引証を新規の顧客に提供していることがわかる。また最終文(For example, Waverly ...)には、ウェイバリー銀行はすべての新しい学生用口座に50ポンドを入れてくれ、フェニックス銀行は40ポンドを提供していると述べられている。以上から、銀行が新たに銀行口座を開設した学生に提供するものの中でもっとも価値が高いのは、アルファ銀行の120ポンドに相当する鉄道の学生割引証であることがわかるので、正解は②となる。

①に関しては、第4段落最終文(However, my bank ...)からわかるように、ATMの無料引き出しを認めているのは筆者が利用しているアルファ銀行だけであるので不可。

③に関しては、第5段落第1文(The unique benefit ...)で筆者が利用しているアルファ銀行が無料の旅行保険を提供していることが言及されているが、ウェイバリー銀行が旅行保険を提供していることは述べられていないので不可。

④に関しては、第3段落第1文(In addition to ...)から、すべての学生用口座がゼロ金利のローンを提供していることがわかるので不可。

問2 5 正解③

「筆者の銀行によって提供されていないものはどれか」 5

- ① デビットカード
- ② ATMサービス
- ③ 無料の銀行取引業務
- ④ 無料の旅行保険

正解は③。第3段落第1文(In addition to ...)から、すべての学生用口座がオンライン銀行とデビットカードを提供していることがわかる。また第4段落最終文(However, my bank ...)に「ATMでの現金引き出し」の言及があるのでATMサービスが提供されていることもわかる。さらに第5段落第1文(The unique benefit ...)で筆者が利用しているアルファ銀行が無料の旅行保険を提供していることが言及されている。一方、第4段落第1文(Most adult bank ...)～第2文(My bank charges ...)から、筆者が利用している銀行(アルファ銀行)は月に2ポンドの銀行口座利用手数料を請求しており、銀行取引業務は無料ではないことがわかる。以上から正解は③となる。

①、②、④に関しては、上で述べたように、筆者の銀行が提供しているものなので不可。

問3 6 正解②

「この記事の中で説明されている学生用銀行預金口座の特徴はどれか」 6

- A: ローンとサービスが成人用口座よりも安い。
- B: 学生が平日のみ無料で現金を引き出すことを可能にしている。
- C: 学生がアルバイトの仕事を探す手助けをしている。
- D: 新しい口座保持者が自分の口座に40ポンド入れることを要求している。
- E: 新しい顧客に奨励金を提供している。

- ① AとD
- ② AとE
- ③ BとC
- ④ BとD
- ⑤ CとE

正解は②。第3段落第1文 (In addition to ...) から、すべての学生用口座はゼロ金利の短期ローンを提供していることがわかり、第4段落第1文 (Most adult bank ...) から、学生用銀行口座は成人用口座よりも安い価格か無料で利用できることがわかるので、Aが学生用口座のことを説明していると判断できる。また、第2段落第4文 (Other banks give ...) ~最終文 (For example, Waverly ...) から、たとえばウェイバリー銀行やフェニックス銀行のように新しい学生の顧客に奨励金を提供している銀行もあることがわかるので、Eが学生用口座のことを説明していると判断できる。以上から正解は② AとEとなる。

問4 7 正解①

「自身の学生用口座に関して筆者が抱いている1つの意見は 7 ということである」

- ① 保険請求は処理するための時間があまりに長くなりすぎた
- ② 銀行業務アプリは使用するにはあまりに複雑すぎる
- ③ 無料ギフトは彼女にはあまり役に立たなかった
- ④ ゼロ金利ローンの上限があまりに低すぎる

正解は①。筆者は、第5段落第1文 (The unique benefit ...) で「(筆者が利用している) アルファ銀行独自の利点は、卒業まで無料の旅行保険を提供してくれることです」と述べ、第3文 (I took a ...) では旅行先のパリでカメラの盗難被害にあったことに言及し、最終文 (I was able ...) においては「私は新しいカメラを買うためにいくらかのお金を取り戻すことができました。もっとも、そのお金がもっと早く届いて、手続きがもっと簡単であればよかったのですけれども」と、銀行の保険手続きに時間がかかりすぎたことに関する不満を述べていることから、正解は①とわかる。

②に関しては記述がないので不可。

③に関しては、「無料ギフト」と考えられるものは鉄道の割引証、ATM引き出し手数料、旅行保険などがあるが、いずれも「役に立たなかった」という記述はないので誤り。

④に関しては、第3段落第3文 (Some banks allow ...) で、銀行の中にはゼロ金利ローンの上限額を筆者が利用しているアルファ銀行よりも高くしているところもあることが言及されているが、アルファ銀行のゼロ金利ローンの上限があまりに低すぎるとは述べていないので不可。

問5 8 正解①

「以下のどれが筆者の考えをもっともよく表しているか」 8

- ① 彼女は学生用口座を開設することはさまざまな金銭上の利益を生むだろうと考えている。
- ② 彼女は、学生用口座と通常の口座にはほとんど違いはないと考えている。
- ③ 彼女は、学生に同様の金銭的サービスを提供する銀行が増えることを期待している。
- ④ 彼女は、外国に行くときには別の旅行保険を購入した方がいいと考えている。

正解は①。第1段落第1文 (Almost all banks ...) から、最近のほぼすべての銀行は特別な「学生銀行口座」を提供しており、そうした口座は通常の口座保持者では利用できないサービスを提供していることがわかり、第2段落~第5段落では、そうしたさまざまなサービスには金銭的な価値があることが紹介されている。よって正解は①となる。

②, ③, ④に関しては、筆者が述べている内容にはなっていないので不可。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

◇ bank account 「銀行預金口座」 ◇ graduate ㊦ 「卒業生」

[本文]

◇ recommend -ing 「-することを勧める」 ◇ sign up 「申し込む；申請する」  
◇ available to ... 「…に利用できる」 not available 以下は直前の services にかかる形容詞句となっている。

◇ attract ㊦ 「…を引きつける」 ◇ railcard ㊦ 「鉄道の割引証」

◇ be worth ... 「…の価値がある」 ◇ fare ㊦ 「運賃」

◇ banking ㊦ 「銀行取引業務」

◇ debit card 「デビットカード」 預金口座の残額や、あらかじめ定めた金額の範囲内で買い物に使用できる即時払い式のカード。

◇ low-interest ㊦ 「金利の低い」 ◇ allow ㊦ 「…を許可する；…を認める」

◇ up to ... 「最大 [最高] …」 ◇ interest-free ㊦ 「利息なしで」

◇ respectively ㊦ 「それぞれ」 ◇ charge ㊦ 「…を請求する」

◇ fee ㊦ 「料金；手数料」 ◇ cash withdrawal 「現金引き出し」

◇ travel insurance 「旅行保険」 ◇ procedure ㊦ 「手続き」

[設問文・選択肢]

◇ without charge 「無料で」

◇ incentive ㊦ 「奨励金」

◇ claim ㊦ 「請求」

◇ financial ㊦ 「金銭的な」



第3問

解答

問1 - 9 ④, 10 ①, 11 ③, 12 ② (完答で3点)  
 問2 - ② 問3 - ③ (各3点)

出典 Original Material

全訳

あなたと学校の英語クラブの他のメンバーたちがボランティアの日に参加することになっています。あなたは昨年同様のイベントに参加したメンバーであるジュンヤによって書かれた報告書を読んでいます。

川の清掃と自然調査の日

去年のボランティアの日、私たちは河川浄化協会 (RCUA) と一緒に働きました。ボランティアの人たちは毎月川に来て、蓄積したごみをすべて拾っています。最近の台風のために、いつもよりも多くのごみがありました。私たちはまた自然調査にも参加して、自分たちが見つけた花を記録しました。

まず初めに、私たちは RCUA のメンバーたちと会いました。よく晴れていましたが、地面はとても濡れてぬかるんでいたため、私たちは長靴と防水性のズボンを履きました。手の保護のために手袋をして、ごみを集めるポリ袋を持ちました。私たちは2つのグループを作りました。1つのグループはごみを集め、もう1つのグループが再生利用できるものがないかのごみを点検しました。お昼時まで、私たちは大きな袋30個分のごみを集めていました。

正午になると昼食のために手を休めました。私たちのほとんどが弁当を持っていましたが、中には自分の分を忘れた人もいたので、そうした人たちは食べ物を買いにコンビニに行きました。彼らは午前中の仕事の後ですでに疲れていたため、私たちは気の毒に思いました。

昼食後、RCUAのメンバーであるミカが私たちに、花に関する情報の集め方を教えてくれました。RCUAは一部の大学における生態学の専門家が研究データを集める手助けをしていたのです。私たちはベアを作って、大きな輪を無作為に草の中に投げました。それからその輪の中の花の数と種類を数えました。大学の研究に貢献して、私たちは皆誇らしく感じました。ミカは私たちに、来年、有名な生態学の専門誌で自分たちの仕事について読むことができるだろう、と教えてくれました。

最後に、私たちはごみを RCUA のトラックに積み込みました。RCUA の人たちは後でそれを市のごみ処理施設に持って行く計画でした。彼らはまた、私たちを近くのレストランでの夕食に招待してくれました。私たちは楽しく環境問題について話をしました。私たちは RCUA のグループの中にいた2人の外国人のメンバーと英語の練習をしました。

今年、私はまたボランティアの日に参加するつもりです。多くの点で、経験したことが私をやる気にさせたのです。この報告書を書きながらも、私はミカが生態系の専門誌について言ったことを思い出しました。私は、彼女が正しかったかどうかを確かめるために図書館に行こうと心に決めました。

設問解説

問1 9 正解④, 10 正解①, 11 正解③, 12 正解②

「ジュンヤの記事には、ボランティアの日の出来事について述べた学生たちのコメント(①～④)も含まれていた。各コメントを出来事が起きた順番通りにしなさい」

- ① 昼食を持ってきていたらなあ！ 土手を掃除した後で、食べ物を買いに店までずっと歩いて行くのはつらいことでした。
- ② 夕食を食べながら RCUA のメンバーたちと話したことは、私のお気に入りの経験でした。年齢や経歴が異なる人たちとコミュニケーションをとれるようになるのは重要なことです。
- ③ この日のハイライトは研究データを集めることでした。私は植物に興味があるので、将来は生物学者になることを希望しています。
- ④ 到着した時には、いかに多くの仕事をしなければならないのかを知って、私たちは驚きました。強風がたくさんのお金を水の中へと吹き飛ばしてしまっていたのです。

このボランティアの日の出来事を時系列で追っていくと、まず第1段落第3文 (Because of the ...) に「最近の台風のために、いつもよりも多くのごみがありました」とあるが、これは川の清掃作業前の光景の記述であると推測できるので、最初に④が来る。午前中の清掃作業を終えた後、昼食をとることになるのだが、第3段落第2文 (Most of us ...) ～最終文 (We felt sorry ...) から、一部の人は昼食を持ってくるのを忘れたので、午前中の作業で疲れていたがコンビニまで食べ物を買いに行かなければならなかったことがわかる。①はその昼食を持ってくるのを忘れた人たちの1人のコメントであると推測できるので、2番目には①が来る。「昼食後」で始まる第4段落 (After lunch, Mika, ...) には、午後に自然調査を行った経緯が述べられている。③はその自然調査に関するコメントであると判断できるので、3番目には③が来る。「最後に」で始まる第5段落 (Finally, we loaded ...) から、その日の作業を終えた後、近くのレストランで RCUA (河川浄化協会) の人たちと夕食を食べたことがわかる。②はその夕食時に関するコメントであると判断できるので、最後の4番目には②が来るとわかる。以上から、正解は④→①→③→②の順となる。

問2 13 正解②

「ボランティアの日の間、学生たちは13ことはなかった」

- ① 花に関する情報収集を行う
- ② ごみ処理施設に行く
- ③ ボランティアの人たちと英語で会話する
- ④ 活動の間に休憩をとる

正解は②。第4段落 (After lunch, Mika, ...) には、学生たちは RCUA のメンバーからやり方を教わりながら花に関する情報収集を行ったことが述べられているので、①は学生たちが行った行動である。また、第5段落には、RCUA のメンバーたちとレストランで夕食を食べた時のことが述べられているが、その最終文 (We practiced our ...) に「RCUA のグループの中にいた2人の外国人のメンバーと英語の練習をしました」とあることから、③も学生たちが行った行動である。さらに、第3段落第1文 (We stopped for ...) に「正午になると昼食のために手を休めました」とあることから、午前中の川の清掃活動と午後の自然調査の活動の間に昼食をとるための休憩をとったことがわかるので、④も学生たちが行った行動である。しかし、第5段落第1文 (Finally, we loaded ...) ～第2文 (They planned to ...) で「最後に、私たちはごみを RCUA のトラックに積み込みました。RCUA の人たちは後でそれを市のごみ処理施設に持って行く計画でした」と述べられていることから、学生たちはごみ処理施設には行かなかったことがわかるので、正解は②となる。

問3 14 正解 ③

「ジュンヤは図書館に行った時に、おそらくのところ何を見つけたか」 14

- ① 野生の花に関する本
- ② 地元の川の生態系の案内書
- ③ 自分たちのデータに基づいた専門誌の記事
- ④ 台風に関する報道

正解は③。第4段落最終文 (Mika told us ...) では, RCUA のメンバーであるミカがジュンヤたちに, 来年, 有名な生態学の専門誌で自分たちの仕事について読むことができるだろう, と教えてくれたことが述べられ, 最終段落最終文 (I decided to ...) には「私 [この記事の筆者であるジュンヤ] は, 彼女が正しかったかどうかを確かめるために図書館に行こうと心に決めました」とあることから, ジュンヤは図書館に行き, おそらくのところ自分たちのデータに基づいた専門誌の記事を探して見つけた, と推測できるので, 正解は③となる。

①, ②, ④に関しては, いずれも本文からはジュンヤが図書館に行って見つける可能性のあるものと考えすることはできないので不可。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

◇ take part in ... 「…に参加する」

[本文]

◇ survey 図「調査」

◇ trash 図「ごみ; くず; がらくた」

◇ build up 「増大する」

◇ muddy 罫「泥だらけの; ぬかるんでいる」

◇ waterproof pants 「防水性のズボン」

◇ plastic bag 「ポリ袋; ビニール袋」

◇ in which to- は〈前置詞+関係代名詞+to-〉という形で直前の名詞にかかる形容詞句となっている。

◇ recyclable 罫「再生利用できる」

◇ midday 図「正午」

◇ pack 罫「…を詰める; …を入れる」

◇ feel sorry for ... 「…を気の毒に思う」

◇ ecology expert 「生態学の専門家」

◇ hoop 図「大きな輪」

◇ at random 「無作為に」

◇ feel proud to - 「-することで誇らしく感じる」

◇ contribute to ... 「…に貢献する」

◇ journal 図「専門誌」

◇ load A into B 「A を B 〈車など〉に積む」

◇ trash disposal facility 「ごみ処理施設」

◇ inspire 罫「…を鼓舞する; …を奮起させる」

◇ in many ways 「多くの点で」

◇ remind 〈人〉 of ... 「人に…を思い出させる」

◇ see if ... 「…かどうかを確かめる」

[設問文・選択肢]

◇ It was hard walking all the way ... の walking 以下は形式主語 It の真主語となる動名詞句となっている。

◇ riverbank 図「川岸; 土手」

◇ over dinner 「夕食を食べながら」

◇ learn to- 「-する [できる] ようになる」

◇ background 図「背景; 経歴」

◇ blow A into B 「A を B の中に吹き飛ばす」

◇ carry out ... 「…を実行する」

◇ information gathering 「情報収集」

◇ regarding 罫「…に関する」

◇ take a break 「休憩をとる」

◇ most likely 「おそらく」

◇ based on ... 「…に基づいた」

◇ news report 「報道」

第4問

解答

問1 - ①

問2 - ④

問3 - ③

問4 - ②

(各3点)

出典

Original Material

全訳

英語の授業であなたは関心のある科学的問題についてのエッセイを書いています。これが最も新しい草稿です。あなたは今、先生からのコメントに基づいて、修正に取り組んでいます。

睡眠を改善する方法	コメント
<p>科学的研究によれば、ほとんどの成人は、健康を維持するには一晩に7～9時間ほどの睡眠が必要です。長期間にわたって睡眠が不足すると、心臓病や高血圧や肥満を含め、多くの健康上の問題を引き起こす可能性があります。それはまた脳にも影響を及ぼし、頭の回転や、情報保持の能力を低下させます。睡眠の重要性にもかかわらず、多くの人々は夜、十分に眠ることができていません。(1)たとえば、睡眠を改善するために、私たちにできることはたくさんあります。</p> <p>第一に、朝、自然の光に触れることが重要です。自然な生活リズムは光に触れることによって作られるからです。(2) 眠気を感じることを防ぐホルモンが脳の内部から放出されます。また最初に光に触れたときに、身体に約14時間後にメラトニンという睡眠ホルモンを作る指示が出されます。</p> <p>第二に、(3)どこで眠っているのでしょうか？ 睡眠に最適な温度は摂氏18～20度とされています。光に加えて、人間の睡眠周期は温度のような環境的な要因によって調節されます。したがって、寝室の温度を下げることによって、身体に眠る準備をする指示を出すことができ、それが寝つく時間を早め、睡眠の質を改善することに役立ちます。</p> <p>最後に、夜に電子機器を使用すると睡眠の質に悪影響を及ぼす可能性があることが知られています。スマートフォンやタブレットといった機器はブルーライトを放射し、それがメラトニンの生成を遅らせることになりうるのです。</p> <p>要約すると、以上見てきたように、よりよい睡眠をとるためにできることはたくさんあります。(4) 〆</p>	<p>(1) ここには間違った接続表現が用いられています。変更してください。</p> <p>(2) この文は前の文とうまくつながっていません。記述の流れを良くするためにさらに情報を追加してください。</p> <p>(3) この主題文は後に続く文章をうまく説明していません。書き直してください。</p> <p>(4) 最終的な結論となる文を追加するべきだと思います。</p>

先生のコメント

上出来です！ 私は、確実にもっと多くの睡眠をとる必要があるの、あなたのアドバイスを取り入れるつもりです！ 😊

問1 15 正解①

「コメント(1)に基づく、代わりに使う最もよい表現はどれか」 15

- ① しかし
- ② 対照的に
- ③ 要するに
- ④ したがって

正解は①。下線部(1)の前文では、睡眠は重要であるけれども、多くの人々が睡眠不足に陥っていることが述べられ、下線部(1)に続く文では、睡眠を改善するためにできることはたくさんあると述べられているが、これは前文の例示ではなく、前文で述べられている好ましくない状況を、それとは逆の好ましい状況にするための方法に関する言及であるとみなせる。すなわち、「睡眠の重要性にもかかわらず、多くの人々は夜、十分に眠ることができていません。しかし(ながら)、睡眠を改善するために、私たちにできることはたくさんあります」というつながりにすれば自然な文脈となる。以上から①のHowever「しかし(ながら)」が正解となる。

②, ③, ④ はいずれも自然な文脈とはならないので不可。

問2 16 正解④

「コメント(2)に基づく、追加するのに最もよい表現はどれか」 16

- ① 寝ついた後、
- ② 暗い所で時間を過ごすことによって、
- ③ 私たちがそのことから目を守れば、
- ④ 日光が目に入ってくると、

正解は④。下線部(2)を含む文の前文には「自然な生活リズムは光に触れることによって作られるからです」とあり、下線部(2)を含む文ではそれを具体的に説明して「(2) 眠気を感じることを防ぐホルモンが脳の内部から放出されます」と述べられていると推測できる。よって下線部(2)には眠気を感じることを防ぐホルモンが放出される「光に触れること」を含む前提となる表現が入ると自然な文脈となる。以上から④のWhen sunlight enters our eyes,「日光が目に入ってくると、」が正解となる。

①, ②, ③ はいずれも自然な文脈とはならないので不可。

問3 17 正解③

「コメント(3)に基づく、置き換えたものとしてどれが最適か」 17

- ① 暗い環境で眠ることが重要です。
- ② 必ず十分に疲れた状態で眠るようにしましょう。
- ③ 涼しい部屋で眠ることを推奨します。
- ④ 寝る前に身体をリラックスさせるようにしましょう。

正解は③。空所(3)の後には、睡眠に最適な温度は摂氏18～20度であると言われているので、寝室の温度を調節することで睡眠の質が改善される、といった内容が述べられているとわかる。よってこの段落の主題文としては選択肢③「涼しい部屋で眠ることを推奨します」が最適であると判断できるので、③が正解となる。

①, ②, ④ はいずれもこの段落で述べられている内容ではないので不可。

問4 18 正解②

「コメント(4)に基づく、どの文を追加すべきか」 18

- ① 結論として、私たちの社会の人々はいまだにこうしたことを適切に行っていません。
- ② このようにして、私たちは睡眠の質ばかりでなく、健康全般を改善することができます。

- ③ したがって、私たちは労働時間を減らし、睡眠時間を増やすべきです。
- ④ これらの点は、若者たちにとってより多くの睡眠をとることの重要性を示しています。

正解は②。コメント(4)には「最終的な結論となる文を追加すべきだと思います」とある。空所(4)を含む段落の前までの段落構成は以下のようになっている ([ ] 内の数字は段落番号を表す)。

- [1] 序論 「睡眠改善と健康改善のためにできること」
- [2] 本論1 「朝、日光に触れること」
- [3] 本論2 「寝室の温度を下げること」
- [4] 本論3 「夜、電子機器の利用を控えること」

以上の内容を受けて、[5] では「要約すると、以上見てきたように、よりよい睡眠をとるためにできることはたくさんあります。(4)」と述べられているので、空所(4)に②「このようにして、私たちは睡眠の質をばかりでなく、健康全般を改善することができます」という文を追加すれば、最終的な結論を示す適切な結びとなると判断できる。よって正解は②となる。

①, ③, ④ はいずれも最終的な結論を示す内容とはなっていないので不可。

主な語句・表現

[リード文]	◇ draft 図「草稿」	◇ work on ... 「…に取り組む」
	◇ revision 図「改訂；修正」	◇ based on ... 「…に基づいて [た]」
[第1段落 (Scientific research tells ...)]	◇ long-term 図「長期にわたる」	◇ including ... 「…を含めて」
	◇ high blood pressure 「高血圧」	◇ obesity 図「肥満」
	◇ affect 動「…に影響を及ぼす」	◇ alert 図「機敏な；頭の回転が速い」
	◇ retain 動「…を保持する」	
[第2段落 (First, it is ...)]	◇ expose A to B 「AをBに触れさせる」	◇ hormone 図「ホルモン」
	◇ release 動「…を放出する」	◇ from inside ... 「…の内部から」
	◇ instruct O to - 「Oに-するよう指示を与える」	
[第3段落 (Second, <sup>(3)</sup> where do ...)]	◇ degree 図「(温度・角度などの) 度」	◇ Celsius 図「摂氏」
	◇ in addition to ... 「…に加えて」	◇ regulate 動「…を調節する」
	◇ trigger 図「引き金；要因」	
	◇ signal to A that ... 「Aに…と指示 [合図] する」	
	◇ fall asleep 「寝つく；眠りに落ちる」	
[第4段落 (Finally, it is ...)]	◇ electronic device 「電子機器」	
	◇ negatively 副「否定的に；悪い方へ」	negatively affect ... で「…に悪影響を及ぼす」。
	◇ emit 動「…を放射 [放出] する」	◇ delay 動「…を遅らせる」
[最終段落 (In summary, there ...)]	◇ in summary 「要約すると」	
	◇ a number of 複数形 「多くの [いくつかの] 複数形」	
[先生のコメント]	◇ definitely 副「確かに；確実に」	◇ take on ... 「…を採用する [取り入れる]」
[コメント]	◇ connect with ... 「…とつながる」	◇ topic sentence 「主題文」
	◇ rewrite 動「…を書き直す」	◇ concluding 図「結論となる；結びの」

[設問文・選択肢]

- ◇ protect A against [from] B 「B から A を守る」
- ◇ make sure (that) ... 「必ず [確実に] ... する」
- ◇ recommend 勸 「... を勧める ; 推奨する」
- ◇ in conclusion 「結論として」
- ◇ properly 副 「適切に」
- ◇ in this way 「このようにして」
- ◇ overall 副 「全般的な」
- ◇ spend A - ing 「- して A (時間・お金など) を費やす」

第5問

解答

問1 - ②	問2 - ①	問3 - ①	(各3点)
問4 - 22	- ③	23	- ③ (各2点)
問5 - ⑤			(3点)

出典 Original Material

全訳

あなたと何人かの友人は高校で新しいクラブ—英語によるディベートクラブ—を始めることにしました。あなたは、以下の記事に基づいた主題と、授業で最近英語によるディベートに参加した生徒に対して行ったアンケート結果についての配布資料を作りました。

ディベートを成功させるのは何か

スカイロック大学ディベートチームのキャプテンである、ルーシー・ゴンザレス

ディベートは重要な主題について議論するための道具です。ディベートを行うことによって、学生は難解な主題を探求し、自分の意見を論理的に表現し、自分が抱いている先入観に疑問を投げかけることができるのです。すべてのディベートは、前もって選ばれる1つの決議案—議論されるべき意見—から始まります。

ディベートは、賛成チーム、反対チーム、そして審査団という3つのグループを必要とします。賛成チームは、決議案を支持する主張とその理由を発表することから始めます。また彼らは決議案に対する反対理由を予測し、その理由がなぜ間違っているのかを説明しなければなりません。

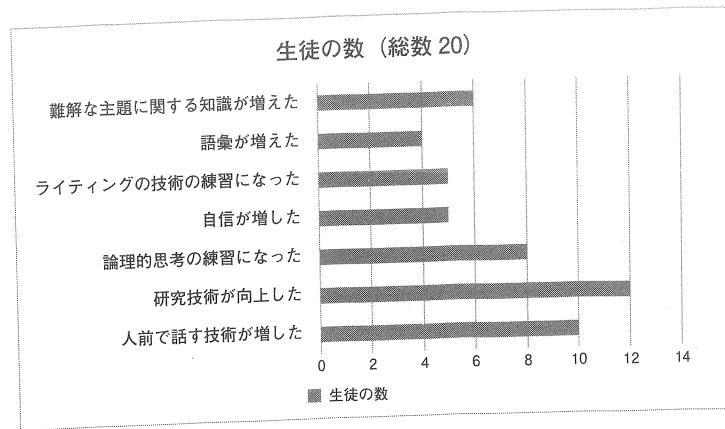
次に、反対チームが反対である主張を発表します。発表者は相手チームによって提起された疑問に答え、決議案に反対するさらなる理由を発表します。主題の両面を調査し、相手チームがどのような発言をするかを推測することが成功をもたらします。

両チームは反論セクションで再び発言します。ここでは、発表者は相手チームが言ったことに関する見解を述べ、さらなる反論を述べます。最後に、審査団が最終的な意見を聴きます。審査団は主要な2つの点—明晰さと妥当性—を探ります。明晰さとは主張が明快で論理的であったことを意味し、一方、妥当性とは発表者が主題からそれることなく適切な証拠をあげたことを意味します。審査団は、自分たち自身の個人的意見とは関係なく、そうした点に自分たちの判断の基盤を置かなければなりません。

ディベートは楽しくあるべきです。参加者は自分たちの役割を真剣に引き受けなければなりません。全員が礼儀正しいままでいるべきです。こうした活動を通して、メンバーたちは自分の技術と知識をよりよいものにしていくことができるのです。

アンケート結果

質問1：英語のディベートの授業に参加することの利点はどういうことだと感じましたか。



質問2：ディベートの授業に関する意見を述べてください。

主な意見：

- 生徒1 (S1)：私は反対チームに割り当てられましたが、実際のところは個人的には決議案に賛成でした。反対の主張を考えるのは私にとって難しいことでした。
- S2：私はディベートグループの1つの一員でしたが、私の友だちは審判でした。彼女はまったく研究をしませんでした。私は審判団も主題の研究をしなければならないと思います。彼女はまたそれぞれのチームが述べていた要点を覚えておくことは難しかったと言っていました。
- S3：私は必要な英単語がわからなかったため、私にとってディベートは難しいものでした。活動を始める前に語彙リストがあればよかったと思います。
- S4：反対チームは自分たちの意見を支持する統計とデータを見つけました。賛成チームは論理的な理由や証拠を見つけることができなかったので、負けたのです。
- S5：私は、私たちには授業中に、ディベートの準備をし、調査する時間が十分とれなかった主題を理解するための時間をもっと必要だったと思います。
- S6：主題に関する私の知識は本当に貧弱で、私はディベートを行う前にはどんな意見も持っていませんでした。しかし、私は主題に関する知識を得たばかりでなく、関連する他の問題についてもたくさん学びました。

あなたの議論に関する配布資料：

正式なディベートを計画すること

■ ディベートの構成

- 決議案： **19**
- 3つのグループ：賛成チーム、反対チーム、審判団

■ 専門家のアドバイスとアンケート結果に基づくチームメンバーへの助言

- 賛成チーム：

**20** 理由を研究し発表する。

- 反対チーム：

たとえ個人的には同意していないとしても、主題に関する反対意見を述べる。

前もってチームに有益な情報を与えることは、反対である主張を準備するのに役立つかもしれない。

- 審判団：

**21**

- ディベートが始まる前に自分の意見を決める。
- 前もって主題に関して学ぶ。
- 明晰で論理的な主張を探す。
- 主張を支持する証拠を探す。
- 忘れてしまわないように、ディベートの間にメモをとる。

■ 話し合うべきその他の問題

- **23** の意見が言及していたように、**22** と言っていた学生の数をもっとも少なかった。そのことに関して、我々はどうすべきか。
- グラフと **24** の意見の両方に基づけば、我々はクラブの時間を、主題を理解し、主張の計画を立てることに割り当てるべきなのだろうか。我々はそれぞれのチームがどれだけの時間を必要とすると考えているのだろうか。
- S1 は、授業中に議論された主題に関する自分の意見はすでに決まっていたと述べていた。おそらく、我々は、全員が主張のあらゆる側面を理解できるようにするために、各チームに分かれる前に、グループでのプレーストリーミングのための時間を多く持つべきである。あなたは思うか。

問1 19 正解②

「19」に入れるのもっとも適切な選択肢を選びなさい

- ① 両チームが反対の主張を準備すべきである意見
- ② ディベートすべき問題に関する意見
- ③ 議論の余地のある主題についてのほとんどの人々が賛成する意見
- ④ 賛成チームが反対する、反対チームの最初の主張

正解は②。「ディベートを成功させるのは何か」という記事の第1段落最終文 (All debates start ...) で「すべてのディベートは、前もって選ばれる1つの決議案—議論されるべき意見—から始まります」と述べられていることから、「決議案」とは「議論されるべき意見」であることがわかるので、正解は②と考えることができる。

①, ③, ④ はいずれも決議案の定義として記事で述べられている内容ではないので不可。

問2 20 正解①

「20」に入れるのもっとも適切な選択肢を選びなさい

- ① あなたが研究したデータで裏づけられる、決議案に同意する
- ② 上級の英語語彙を使って、主題に反対する
- ③ 審判団が決断を下すことを可能にする、主張に関する双方の側にとっての
- ④ 相手チームを説得するための、主題に関する個人的な意見の

正解は①。「ディベートを成功させるのは何か?」という記事の第2段落第2文 (The affirmative team ...) で「賛成チームは、決議案を支持する主張とその理由を発表することから始めます」と述べられている。賛成チームが行うこととして「20」に①を入れると「あなたが研究したデータで裏づけられる。決議案に同意する理由を研究し発表する」という意味になり、記事で述べられていることとほぼ同じ意味を表すことになるので、正解は①となる。

②, ③, ④ はいずれも、「20」に続けても賛成チームが行うこととして記事で述べられている内容とはならないので不可。

問3 21 正解①

「あなたは配布資料を点検しているところである。審判団の下にある助言の中に誤りを見つけた。以下のどれを取り除くべきか」 21

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

正解は①。「ディベートを成功させるのは何か」という記事の第4段落第3文 (Finally, the judges ...) 以降に審判団が行うことの説明がなされているが、最終文 (Judges should base ...) に「審判団は、自分たち自身の個人的意見とは関係なく、そうした点に自分たちの判断の基盤を置かなければなりません」とあるので、Aの「ディベートが始まる前に自分の意見を定める」は誤りであるとわかる。

② BはS2のコメントにある「審判団も主題の研究をしなければならないと思います」という意見を反映させたものであると考えることができる。③ Cと④ Dは第4段落第4文 (The judges look ...) と第5文 (Clarity means that ...) で述べられている、「審判団は主要な2つの点—明晰さと妥当性—を探ります。明晰さとは主張が明快で論理的であったことを意味し、一方、妥当性とは発表者が主題からそれることなく適切な証拠をあげたことを意味します」という内容に対応していると考えられる。⑤ EはS2のコメントにある「彼女 [審判の1人] はまたそれぞれのチームが述べていた要点を覚えておくことは難

しかったと言っていました」という意見を反映させたものであると考えることができる。

問4 22 正解③ 23 正解③

「22」と「23」に入れるのもっとも適切な選択肢を選びなさい

22

- ① 友人たちの前で話すのは難しかった
- ② 準備のための時間がほとんどなかった
- ③ 新しい単語を身につけることができた
- ④ 主題に関する知識がほとんどなかった
- ⑤ ライティングの練習が含まれていなかった

23

- ① S1
- ② S2
- ③ S3
- ④ S4
- ⑤ S5
- ⑥ S6

正解は「22」が③、「23」が③。

空所「22」と「23」を含む箇所は、話し合うべきその他の問題の1つとして「23」の意見が言及していたように、「22」と言っていた学生の数はもっとも少なかった。そのことに関して、「我々はどうすべきか」という意味を表している。空所「22」に関し、グラフより、学生の数をもっとも少なかった項目は「語彙が増えた」であるので、「22」には③「新しい単語を身につけることができた」が入ることになる。空所「23」に関し、アンケート結果の質問2における各生徒の意見の中でS3は「私は必要な英単語がわからなかったので、私にとってディベートは難しいものでした。活動を始める前に語彙リストがあればよかったです」とコメントしている。「必要な英単語がわからなかった」ということは「新しい単語を身につけることができたと言っていた学生の数はもっとも少なかった」というグラフが示していることと呼応していると判断できるので、「23」には③ S3が入ると考えることができる。

問5 24 正解⑤

「24」に入る最も適切な選択肢を答えなさい

- ① S1
- ② S2
- ③ S3
- ④ S4
- ⑤ S5
- ⑥ S6

正解は⑤。空所「24」を含む箇所は「グラフと「24」の意見の両方に基づけば、我々はクラブの時間を、主題を理解して主張の計画を立てることに割り当てるべきなのだろうか。我々はそれぞれのチームがどれだけの時間を必要とすると考えているのだろうか」という意味を表している。アンケート結果の質問2における各生徒の意見の中で、S5は「私は、私たちには授業中に、ディベートの準備をし、調査する時間が十分とれなかった主題を理解するための時間をもっと必要だったと思います」とコメントしているが、そのコメントに基づいて「主題を理解して主張の計画を立てることに割り当てるべきなのだろうか」という問題提起がなされていると判断できるので、「24」には⑤ S5が入ることになる。



主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ handout 図「配布資料；プリント」
- ◇ based on ... 「…に基づいて」 base A on B 「Aの基礎をBに置く」
- ◇ questionnaire 図「アンケート」
- ◇ take part in ... 「…に参加する」

[記事]

- ◇ allow O to - 「Oが-することを可能にする」
- ◇ challenge 動「…を疑問視する」
- ◇ resolution 図「決議案」
- ◇ affirmative 図「賛成の；肯定の」
- ◇ judge 図「審判」
- ◇ argument 図「主張」
- ◇ anticipate 動「…を予想する」
- ◇ opponent 図「相手；敵」
- ◇ counter-argument 図「反対の主張 [意見]；反論」
- ◇ clarity 図「明晰さ」
- ◇ logical 「論理的な」
- ◇ regardless of ... 「…とは無関係に」
- ◇ prejudice 図「先入観；偏見」
- ◇ statement 図「声明；陳述；意見」
- ◇ oppose 動「反対する」
- ◇ present 動「…を発表する」
- ◇ support 動「…を支持する」
- ◇ raise 動「〈問題など〉を提起する」
- ◇ rebuttal 図「反論；反駁」
- ◇ relevance 図「妥当性；適合性；適切さ」
- ◇ stick to ... 「…に固執する；…から外れない」

[アンケート結果]

- ◇ confidence 図「自信」
- ◇ come up with ... 「…を思いつく；…を見つける」
- ◇ I didn't have enough time 以下は直前の the topic を先行詞とする関係代名詞節であるが、関係代名詞は目的格であるために省略されている。
- ◇ investigate 動「…を調べる」
- ◇ be assigned to ... 「…に割り当てられる」

[配布資料]

- ◇ recommendation for ... 「…への助言」
- ◇ brainstorming 図「ブレインストーミング」 集団の自発的あるいは自由な発案・議論による問題解決法のこと。
- ◇ session 図「集団活動；(集団活動のための) 時間」
- ◇ take notes 「メモを取る」

[設問文・選択肢]

- ◇ declaration 図「発表」
- ◇ back up ... 「…を裏づける」
- ◇ controversial 図「議論の余地のある」
- ◇ convince 動「…を説得する」

解答

問1 - ④	問2 - ①	(各3点)
問3 - $\frac{27}{29} \cdot \frac{28}{4} - ① \cdot ④$		(順不同・両方正解で3点)
問4 - ④	問5 - ②	(各3点)

出典

Original Material

全訳

あなたはアメリカのある州において選挙年齢が16歳に下げられるべきかどうかについてのエッセイに取り組んでいます。以下の各ステップに従っていきます。

- ステップ1：選挙年齢を下げることに関するさまざまな見解を読んで理解する。
- ステップ2：選挙年齢が下げられるべきかどうかについての判断を下す。
- ステップ3：追加の情報源を使って、エッセイの概要を作成する。

[ステップ1] さまざまな情報源を読む

筆者A (高校生)

私の友人の中には、私たちは16歳で投票する権利を持つべきである、と感じている人もいます。しかし、私はまだ有権者になる準備ができていないと感じています。卒業するまで高校はまだ2年あるので、多くの点で私はまだ子どものように感じているのです。また私は誰に投票すべきかに関する確固とした意見をもつほど政治制度について十分わかっていません。おそらく両親と同じ政党に投票するだけでしょう。

筆者B (教師)

多くの人たちは、16歳はまだ子どもである、したがって投票権を持つべきではない、と感じています。実際のところ、私は、16歳は若者が政治や社会に関心を持ち始める理想的な年齢だ、と思います。彼らに情報に基づく選択を行うための十分な情報が与えられるならば、そうすることができる、と私は思います。しかし、私たちは彼らに学校で政治について教えなければならないのですが、私たちは教師として自分たち自身の個人的な政治的意見に関し、彼らにあまり影響を与えずに注意しなければなりません。

筆者C (投票所職員)

私は、投票に来る人の数が毎年減っていることに気づきました。そういうわけで、私は選挙年齢を下げることに賛成です。今、有権者の大多数はお年寄りで、若者は少数派です。より若い人々が投票することを可能にすれば、彼らは期待を込めて政治にもっと深く興味を持ち、これからの人生において有権者となってくれるでしょう。しかし、16歳の者たちが投票することを可能にした場合、確実に彼らが投票する動機を抱き、バランスの取れた政治教育を受けるようにしなければなりません。学校にそういったことをする時間や経験があるかどうかわかりませんが。

筆者D (心理学者)

ほとんどの発達心理学者は、人間の脳は20代半ばまでは成熟が終わらないということで意見が一致しています。したがって、16歳の者たちは発達という意味ではまだ子どもです。しかし、これが私が選挙年齢を下げることに反対する主要な理由ではありません。おそらく十分に成熟している16歳はたくさんいるでしょうが、私は彼らには適切な選択を行う

設問解説

ための政治と社会の両方に関する知識が欠けていると思います。教育制度を大きく変えることなしにこのことを行うことは不可能です。私は、学校の生徒が重要な決断をすることを可能にする十分な知識を持つまで、選挙年齢を下げることを支持しません。

筆者 E (政治家)

統計によると、私の州における有権者の大部分は 45 歳から 64 歳にかけての年齢層です。それはつまり、政治家が高齢の有権者が気にしていることに向けた政策決定を行う傾向にあるということです。今は若者にとっては困難な時代ですので、もし彼らが投票することができれば、もっと明るい未来のための選択をすることができる、と私は思うのです。政治家の中には、16 歳の者たちは教師や親の政治的選択に強い影響を受けることになるので、選挙年齢を下げることに反対する者もいますが、私は、高齢の有権者ばかりでなく、すべての人のためのよりよい社会を作るべきだと思います。

問 1 25 正解 ④

「筆者 B と E は両者とも 25」と言及している」

- ① 16 歳の者たちは、政治に積極的な関心を持つにはあまりに若すぎる
- ② 高校生は仕事をしたり税金を払ったりしていないので、政治を理解することができない
- ③ 政治に積極的であるのは、主に中高年の人たちである
- ④ 若者の政治的意見は教師の影響を受ける可能性がある

正解は ④。教師である筆者 B は最終文 (However, while we ...) で「しかし、私たちは彼らに学校で政治について教えなければならないのですが、私たちは教師として自分たち自身の個人的な政治的意見に関し、彼らにあまり影響を与えすぎないように注意しなければなりません」と述べているということは、それは若者は教師の意見に影響を受ける可能性が高いという根拠に立っての発言であると推測できる。また政治家である筆者 E は最終文 (Some politicians are ...) で「政治家の中には、16 歳の者たちは教師や親の政治的選択に強い影響を受けることになるので、選挙年齢を下げることに反対する者もいますが、私は、高齢の有権者ばかりでなく、すべての人のためのよりよい社会を作るべきだと思います」と述べている。以上から著者 B と E は両者とも「若者の政治的意見は教師の影響を受ける可能性がある」ことに言及しているので、正解は ④ となる。

①、②、③ に関しては、いずれも筆者 B と E の両者が言及している内容ではないので不可。

問 2 26 正解 ①

「筆者 D の主な主張は 26」ということである」

- ① 現在、学校では政治制度に関する情報は適切に教えられてはいない
- ② 大体 25 歳になっていない人々は未熟であり、投票権を持つべきでない
- ③ 適切な政治的決断を行うほど十分に賢明である学校の生徒はいない
- ④ 脳が十分に発達していない人々は投票することができるようになるべきではない

正解は ①。心理学者である筆者 D は第 4 文 (Probably there are ...) 後半で「私は彼ら [16 歳の者たち] には適切な選択を行うための政治と社会の両方に関する知識が欠けていると思います」と述べ、続く第 5 文 (We cannot do ...) で「教育制度を大きく変えることなしにこのことを行うことは不可能です」と述べている。以上のことから筆者 D は「現在、学校では政治制度に関する情報は適切に教えられてはいない」ことを示唆していると判断できるので、正解は ① となる。

③ に関しては、筆者 D が示唆している内容とは言えないので不可。

②、④ に関しては、筆者 D は第 1 文 (Most developmental psychologists ...) ~ 第 2 文

(Therefore, 16-year-olds ...) で、16 歳の者たちの脳はまだ十分には発達していないのでまだ子どもでもある、ということが述べられているが、その直後の第 3 文 (However, this is ...) で筆者 D は「しかし、これが私が選挙年齢を下げることに反対する主要な理由ではありません」と述べているので、正解とはならない。

[ステップ 2] 判断を下す

問 3 27・28 正解 ①・④ 29 正解 ④

「さまざまな見解を理解したので、選挙年齢を 16 歳まで下げることに判断を下し、それを以下のように書き出した。27, 28, 29 を完成させるのにもっとも適切な選択肢を選びなさい」

あなたの判断：選挙年齢は 16 歳まで下げられるべきではない。

- ・ 筆者 27 と 28 があなたの判断を支持している。
- ・ その 2 人の筆者の主要な論拠：29。

27 と 28 に入る選択肢 (順序は問わない)

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

正解は ① と ④。筆者 A は第 1 文 (Some of my friends ...) ~ 第 2 文 (However, I don't ...) で「私の友人の中には、私たちは 16 歳で投票を行う権利を持つべきである、と感じている人たちもいます。しかし、私はまだ有権者になる準備ができていないと感じています」と述べ、筆者 D は第 3 文 (However, this is ...) で「しかし、これが私が選挙年齢を下げることに反対する主要な理由ではありません」と述べていることから、筆者 A と D が「選挙年齢は 16 歳まで下げられるべきではない」という判断を支持していると推測できるので、27・28 の正解は ① A と ④ D ということになる。

29 に入る選択肢

- ① 親は 10 代の子どもたちに、自分たちが支持する政党に投票するように言う可能性が高い
- ② 18 歳未満の生徒の中には、投票を行うことができるほど成熟している者もいる
- ③ 18 歳未満の生徒は友人の決定に影響を受ける可能性が高い
- ④ 16 歳から 18 歳の若者は投票するための知識や経験を持っていない

正解は ④。筆者 A は第 3 文 (I don't also ...) で「また私は誰に投票すべきであるかに関する確固とした意見を持つほど政治制度についてわかっていません」と述べ、筆者 D は第 4 文 (Probably there are ...) で「おそらく十分に成熟している 16 歳はたくさんいるでしょうが、私は彼らには適切な選択を行うための政治と社会の両方に関する知識が欠けていると思います」と述べていることから、「あなた」の判断を支持している筆者 A と D の主要な論拠は選択肢 ④ の「16 歳から 18 歳の若者は投票するための知識や経験を持っていない」ことであるとわかる。

[ステップ3] 情報源 A と B を使って、概要を作成する。

あなたのエッセイの概要:

**選挙年齢を下げることは適切な考えではない**

**序論**  
最近、選挙で投票する人々の数が減っている。したがって、より多くの人たちに投票を行うよう促すために選挙年齢を 16 歳まで下げるべきであると考えられる者もいる。しかし、それは適切な考えではない。

**本論**  
理由 1 : (ステップ 2 から)  
理由 2 : (情報源 A に基づく) ..... **30**  
理由 3 : (情報源 B に基づく) ..... **31**

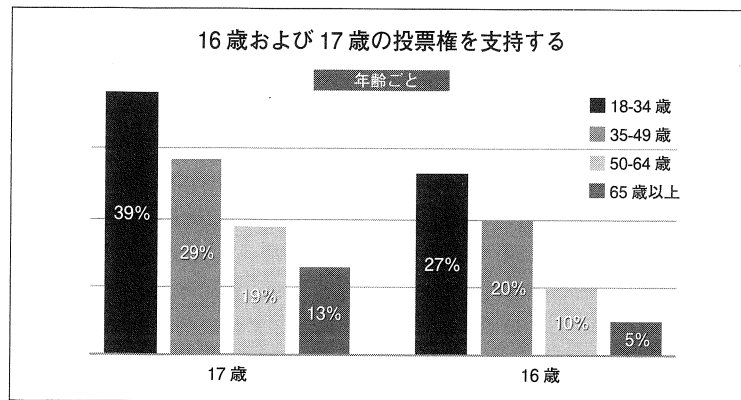
**結論**  
選挙年齢は 16 歳まで下げられるべきではない。

**情報源 A**

世界のほとんどの国では、成人年齢は 18 歳に設定されてきている一方、成人年齢としてずつと高い年齢を設定している国もある。ほとんどの国で 18 歳が成人とみなされている理由は、発達段階において若者が自分自身の人生に関して重要な決断を行うことができる年齢だからである。すなわち、彼らは許可を得ずに結婚できるし、法的契約書にサインすることができるのである。フルタイムで働いている可能性のある者もいる。したがって、ほとんどの国は成人年齢を投票するのに適した年齢に合わせることもなっている。実際のところ、世界中の平均的な選挙年齢は 18 歳を少し上回る場所である。ほとんどの政府は、法的に成人とみなされない者は、選挙における投票権を持ち国の政治に影響を及ぼすべきではないと考えている。

**情報源 B**

米国で行われた調査は、さまざまな年齢層の人たちに 16 歳と 17 歳の者たちの投票権を支持するかどうかを尋ねた。さまざまな政党の支持者である 1,000 人を少し上回る人たちが調査の質問に回答した。ジェンダー、民族集団、収入といった公正なバランスも存在していた。



問 4 **30** 正解 ④

「情報源 A に基づけば、以下のどれが理由 2 としてもっとも適切か」 **30**

- ① 18 歳の者たちはまだ学校で勉強しているので、投票を行い政治に影響を及ぼすほど十分な年齢になっているとはみなされない。
- ② 国の中には人は大体 20 歳になるまでは子どもであると判断しているところもあるので、18 歳でもあまりに若すぎるので投票を行うことはできない。
- ③ ほとんどの国では 18 歳より上の人々は教育を終えているので、彼らは投票を行うことができると期待されている。
- ④ ほとんどの国では 18 歳が成人年齢とみなされているので、我々は選挙年齢を 18 歳のままに留めておくべきである。

正解は ④。情報源 A の第 2 文 (The reason why ...) で「ほとんどの国で 18 歳が成人とみなされている理由は、発達段階において若者が自分自身の人生に関して重要な決断を行うことができる年齢だからである」と述べられ、さらに最終文 (Most governments believe ...) で「ほとんどの政府は、法的に成人とみなされない者は、選挙における投票権を持ち国の政治に影響を及ぼすべきではないと考えている」と述べられていることから、正解は ④ であると判断できる。

- ①, ② に関しては、情報源 A で述べられている内容ではないので不可。  
③ に関しては、エッセイの概要である「選挙年齢を下げることは適切な考えではない」ということと理由とみなすことはできないので不可。

問 5 **31** 正解 ②

「理由 3 として、あなたは『選挙年齢を下げることはアメリカ人によって支持されていない』と書くことにした。情報源 B に基づけば、どの選択肢がこの記述をもっともよく支持しているか」 **31**

- ① 18 歳から 34 歳の人々は、16 歳の者たちが投票を行うことができるようにすべきだということに反対する可能性がもっとも高いが、3 分の 1 を少し下回る人々は 17 歳に対してはこのことを支持している。
- ② 18 歳から 34 歳の人々のほぼ 4 分の 3 が選挙年齢を 16 歳に下げること賛成してはならず、64 歳より上の 5% は賛成している。
- ③ 34 歳以下の人々の大多数が選挙年齢は下げられるべきであると考えているが、これは他の年齢層の人々には支持されていない。
- ④ 18 歳から 34 歳のほとんどの人々は選挙年齢が 17 歳に下げられることを支持しているが、その人たちのうち 27% だけが選挙年齢を 16 歳に下げること賛成している。

正解は ②。グラフでは選挙年齢を 16 歳とすることを支持する 18 歳から 34 歳の人々は 27% となっているので、そうではない人は 73%、すなわちほぼ 4 分の 3 であることがわかる。また 65 歳以上の人々は 5% が賛成していることがわかるので、正解は ② となる。

- ① に関しては、グラフより最も反対する可能性が高いのは 65 歳以上であり、また 18 歳から 34 歳の人々においては 3 分の 1 を少し上回る人々が 17 歳という年齢を支持していることがわかるので不可。  
③ に関しては、グラフから 34 歳以下の人々のうち選挙年齢を 17 歳にすることを支持する者は 39%、16 歳にすることを支持する者は 27% であることがわかるので、34 歳以下の人々の大多数が選挙年齢は下げられるべきであると考えていることにはならないので不可。  
④ に関しては、上の ③ が不可の理由で述べたように、選挙年齢を 17 歳にすることを支持する者は 39% であり、「18 歳から 34 歳のほとんどの人々は選挙年齢が 17 歳に下げられることを支持している」ことにはならないので不可。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

- ◇ work on ... 「…に取り組む」
- ◇ take a position about ... 「…についての判断を下す」
- ◇ outline ㊦ 「概要」
- ◇ voting age 「選挙年齢；投票年齢」

[ステップ1]

- ◇ the right to vote 「投票権」
- ◇ vote for ... 「…に投票する」
- ◇ ideal ㊦ 「理想的な」
- ◇ take an interest in ... 「…に興味 [関心] を持つ」
- ◇ informed ㊦ 「情報に基づく」
- ◇ voting station 「投票所」
- ◇ that's why ... 「そういうわけで…；したがって…」
- ◇ in favor of ... 「…に賛成して；…を支持して」
- ◇ elderly people 「お年寄り；高齢者」
- ◇ with young adults in the minority 「若者は少数派である」 with はここでは付帯状況を表している。
- ◇ allow + O + to - 「O が-することを許す [可能にする]」
- ◇ make sure (that) ... 「確実に…する」
- ◇ developmental psychologist 「発達心理学者」
- ◇ mature ㊦ 「〈自動詞〉成熟する」 ㊦ 「成熟した」 ⇔ immature ㊦ 「未熟な」
- ◇ in ... sense 「…の意味で」
- ◇ aimed at ... 「…に向けた」 aimed at pleasing older voters は直前の policies にかかる過去分詞句。
- ◇ against ... 「…に反対して」 ⇔ for ... 「…に賛成して」
- ◇ mention that ... 「…に言及している」
- ◇ middle-aged and elderly (people) 「中高年 (の人々)」
- ◇ imply that ... 「…と示唆している」
- ◇ adequately ㊦ 「適切に」
- ◇ motivation ㊦ 「動機」
- ◇ statistics ㊦ 「統計 (の数字)」

[設問文・選択肢]

- ◇ against ... 「…に反対して」 ⇔ for ... 「…に賛成して」
- ◇ mention that ... 「…に言及している」
- ◇ middle-aged and elderly (people) 「中高年 (の人々)」
- ◇ imply that ... 「…と示唆している」
- ◇ adequately ㊦ 「適切に」

[ステップ2]

- ◇ now that ... 「(今や) …なので」
- ◇ be likely to - 「-する可能性が高い」
- ◇ aged ... 「…歳の」 aged 16 to 18 は直前の Young people にかかる過去分詞句。
- ◇ as below 「以下のように」
- ◇ have the maturity 「成熟している」

[ステップ3]

- ◇ election ㊦ 「選挙」
- ◇ encourage + O + to - 「O に-するよう勧める」
- ◇ be set as ... 「…に [として] 設定されている」
- ◇ be considered ... 「…とみなされる」
- ◇ permission ㊦ 「許可」
- ◇ it follows that ... 「(したがって) …ということになる」
- ◇ match A with B 「A を B に合わせる」
- ◇ not legally considered an adult 「法的に成人とみなされない」 直前の anyone にかかる過去分詞句。
- ◇ affect ㊦ 「…に影響を及ぼす」
- ◇ conducted in the US 「米国で行われた」 直前の A survey にかかる過去分詞句。
- ◇ gender ㊦ 「ジェンダー」 歴史的・文化的・社会的に形成される男女の差異。
- ◇ ethnic group 「民族集団」
- ◇ be expected to - 「-することを期待される」
- ◇ a third 「3分の1」
- ◇ three-quarters 「4分の3」

[設問文・選択肢]

- ◇ be expected to - 「-することを期待される」
- ◇ a third 「3分の1」
- ◇ three-quarters 「4分の3」

第7問

解答

問1 -	32	④,	33	①,	34	⑤,	35	③	(全部正解で3点)
問2 -	③								(3点)
問3	37	-	③	38	-	①			(両方正解で3点)
問4 -	①								(各3点)
問5 -	②								

出典

Original Material

全訳

あなたは英語の授業である物語に関する発表のための準備をしているところです。あなたはある雑誌で興味深い物語を見つけて、自分の発表のためにその物語についてのメモを取っているところです。

サム为学校

電話が鳴った。サム・ホーキンは深い眠りから目覚めて、ベッド脇の時計を見た。午前4時。まだ寝ぼけたまま、彼は受話器を取り上げた。

「もしもし？」

「サム。ママだけど。パパがまた病気になるね。パパは病院にいるわ。今回はあなたは家に帰ってくる必要があると思っているわ」

2, 3時間後にサムの妻であるヒロコが起きた時、彼は彼女にその知らせを伝えた。

「僕は明日カナダへ帰る飛行機を予約するつもりだ。パパが重病なんだ。君はここにいて子どもたちの面倒を見てくれるかい？」

「もちろんよ。あなたのパパがすぐによくなることを願っているわ。こっちの方はすべて私がやっておくから。できるだけ早く行ってあげて」とヒロコは応じた。その朝遅く、彼女は子どもたちのミナとカレンに、パパがしばらくカナダのおばあちゃんとおじいちゃんのところに行くことになる、と伝えた。



サムは大学時代は自分の時間を非常に楽しんでいたので、卒業したくなかった。サムは、楽しい学生生活をあきらめたくなかったばかりでなく、また仕事として自分が何をしたいのかわかっていかなかった。彼の友人のほとんどはすでに仕事に関する決断を下していた — ジョンは弁護士になるつもりだったし、クリスはジャーナリストに、そしてマイクは父親の会社で働くつもりだった。何をしたいのかわかっていなかったのはサムだけだった。彼の両親は高校の教師で、彼らは彼に同じ仕事をしてはどうかと何度も提案していたが、彼にはよくわからなかった。しかし、22歳で卒業する直前のある日、彼は寮の建物の壁に貼ってあったポスターに気がついた。そこには「日本で英語を教えますか!」と書いてあった。サムはポスターに印刷されていたウェブサイトのアドレスをメモした。その夜、彼は応募したのだった。



「でもサム、あなたはカナダを離れたことさえ一度もないじゃない！なぜ日本に行くの？」彼の母親は驚いて尋ねた。

「ママ、ママたちは僕が教師になってはどうかと勧めてたよね。僕は日本で教師になるんだよ！僕はまず1年間そこに行って、それで教えることが好きだったら、戻ってきてカナダで高校の教師になるよ」

「お前にとっては大きなカルチャーショックになるぞ。もし寂しくなったら、好きなときにはいつでも戻ってきていいからな」と彼の父親が言った。その翌月に、彼は日本へ飛んだ。



それが15年前のことだった。カナダを出る前は日本のことはほとんど知らなかったけれども、日本はサムにとって故郷となった。彼は卒業後に応募したのと同じ学校でいまだに働いており、生徒や同僚たちに愛されていた。彼はまた日本語を読み、話し、書くことを独学で勉強していた。日本に来て3年後、彼は国際交流パーティーで出会ったヒロコと結婚した。結婚して数年後に娘たちが生まれた。ヒロコは作家で、いくつかの小説が出版されていた。母親になった後も、ヒロコは家で空いた時間に執筆を続けていた。彼らは幸せな家族であり、サムは残りの人生は日本で過ごすと思っていた。



カナダに戻り、サムは父親の病気がいかに重いかを知って驚いた。医者は彼に、父親は長く入院する可能性がある、と伝えた。母親の悲しい顔を見て、サムは計画を変更し、父親が快復するまで母親を見守るためにカナダに戻ってくるべきなのかと思った。その晩、サムは旧友のジョン、クリス、マイクに会った。彼らは大学時代の日々や現在の生活について話した。彼らはみな結婚して、子どもがいた。サムは彼らの家族の写真を見せてもらい、自分の娘たちと友人の子どもたちが一緒に遊べたらすばらしいだろうと思った。彼は友人たちに父親のことについて話した。

「戻って来いよ、サム」と友人たちが言った。

「僕はまたここに住みたいけど、教員免許を取りに大学に戻りたくはないな。僕には家族がいる—すぐにでも働く必要がある」

「日本語学校を始めることだってできる」とジャーナリストのクリスが提案した。「僕はある雑誌にアニメや日本文化の人気についての記事を書いたところだ。最近日本語を習いたいと思っている人は多いよ」

「その通りだ！うちの会社にはビルの中に空いている場所がたくさんある。君はその場所をただで使うことができるよ」とマイクが申し出てくれた。

「そして僕はヒロコのビザの文書業務全般を手伝うよ」と弁護士のジョンが言った。

その夜、サムは東京のヒロコに電話し、彼女に自分の考えを伝えた。嬉しかったことに、ヒロコは同意した。



サムは日本に戻ったが、6ヵ月後、ホーキン一家のカナダへの引っ越しが完了した。サムの両親の家にはみんなで一緒に暮らすための十分な場所があった。ヒロコはリモートで執筆の仕事を続けることができた。ミナとカレンはカナダの学校生活を楽しんでいた。彼女たちは日本の友だちのみんなと離れて悲しかったが、

カナダのおばあちゃんやおじいちゃんと一緒に時間を過ごすことが大好きになった。彼女たちの英語はずっと上達していた。おじいちゃんはまだとても病弱だったが、家族の愛情のおかげで日に日に体力が回復しつつあった。家族が一緒にいるところを見た時、サムは、もっと早くこうすることを考えなかったのは残念だと思った。



サムの学校は当初から成功した。彼の友人たちは約束通りに彼を助けてくれた。ある日、マイクは日本語学校に立ち寄った。

「やあ、サム。僕たちはまだ君のための歓迎会をしてなかったね。今週末に歓迎会をしようよ」とマイクが提案した。

「ダメだな、ヒロコと僕が君とジョンとクリスのために感謝の会を開くべきなんだ。僕たちの引っ越しがこんなに順調に進んだのは君たちのおかげだよ。土曜日に家族と一緒にうちへ来てくれないか。そうしたらヒロコと僕は君たちみんなのためにおいしい日本食を作るから」

それで彼らはそのようにしたのであった。

あなたのメモ：

#### サムの学校

##### 物語の概略

サムが大学を卒業する

32

33

34

35

サムとヒロコが感謝の会を開く

##### サムに関して

- 国籍：カナダ
- 年齢：36
- 職業：教師
- 友人たちと家族はどのように彼を援助したか：  
旧友のジョンは37。  
サムの母親と父親は38。

##### 重要な時の説明

- サムがカナダから電話でヒロコと話したときに喜んだのは、39からだった。
- カナダの彼の家で、サムはあることが「残念」だと思った。それは40ということだった。

- 問1 **32** 正解④, **33** 正解①, **34** 正解⑤, **35** 正解③  
 「5つの出来事(①～⑤)から4つを選び、それらが起きた順に並べ替えなさい」  
 ① ヒロコとサムが結婚する。  
 ② ヒロコがカナダで高校教師になる。  
 ③ マイクがサムに、サムの語学学校のための場所を提供する。  
 ④ サムが日本に渡る。  
 ⑤ サムの父親が病気になる。

正解は④→①→⑤→③。

物語の第2ブロック第6文(However, one day ...)～最終文(That evening, he ...)から、サムは22歳で大学を卒業する直前に、日本で教師を募集するポスターを見つけ、その夜に応募したことがわかる。そしてそのことを両親に話した後で、第3ブロック最終文(The month after ...)に、その翌月にサムが日本に渡った、と述べられている(サム22歳)ので、選択肢の中では④が最初に来ることになる。その後、第4ブロック第5文(Three years after ...)で「日本に来て3年後、彼は国際交流パーティで出会ったヒロコと結婚した(サム25歳)」と述べられていることから、①が次に来る。第4ブロック第1文(That was 15 ...)から、大学を卒業して日本に渡って来たのが15年前のことであるとわかり、15年後(サム37歳)のある朝早く、第1ブロック(The phone rang, ...)で述べられているように、カナダの母親から電話があり、父親がまた病気になり、今回はサムがカナダに戻る必要がある、と告げられることになるので、次に来るのは⑤となる。第5ブロック(Back in Canada, ...)で、カナダに戻り、重病の父親を見舞い、母親の悲しい顔を見たサムはカナダに戻ってくるべきだろうか考える。その夜、3人の旧友に会った時に、旧友たちから、カナダに戻って来て日本語学校を開けばいいのではないかという提案を受けるが、その時に旧友の1人であるマイクが自分が働いている父親の会社のビルには空いている場所が多くあるから、そこならただで使うことができると申し出たことがわかる。よって、③が最後に来ることになる。以上から正解は④→①→⑤→③となる。

②は物語では述べられていない内容なので、選ぶべき4つの選択肢には入らない。

- 問2 **36** 正解③  
 「**36**に入れるのに最も適切な選択肢を選びなさい」  
 ① 20代の初め  
 ② 20代の終わり  
 ③ 30代の終わり  
 ④ 40代の初め

正解は③。この物語が始まる時点、つまりある朝早くカナダの母親から電話を受けた時点は、問1の解説でも触れたように、第4ブロック第1文(That was 15 ...)から、サムが22歳で大学を卒業して日本に渡ってきた15年後であるとわかるので、サムは37歳になっていると判断できる。よって正解は③となる。

- 問3 **37** 正解③, **38** 正解①  
 「**37**と**38**に入れるのに最も適切な選択肢を選びなさい」  
 ① サムとヒロコと子どもたちが自分たちと一緒に住むことを認めた  
 ② サムにカナダで新しい事業を始めるためのお金を渡した  
 ③ ヒロコがカナダで暮らすために必要な文書を準備した  
 ④ サムに日本で教師の仕事をするに関するポスターを見せてくれた  
 ⑤ サムの新しい学校を宣伝するためのマーケティング記事を書いた

**37**に関しては、第5ブロック(Back in Canada, ...)から、サムがカナダに戻り、旧友たちと再会した夜に、旧友たちがサムにカナダで日本語学校を開けばいいのではない

かと提案した時に、「『そして僕はヒロコのビザの文書業務全般を手伝うよ』と弁護士のジョンが言った」とあることから、「旧友のジョンは」に続くのは、③「ヒロコがカナダで暮らすために必要な文書を準備した」ということになる。

**38**に関しては、第6ブロック第1文(Sam returned to ...)～第2文(There was enough ...)から、サムの一家が6ヵ月後にカナダへの引っ越しを完了し、「サムの両親の家にはみんなで一緒に暮らすための十分な場所があった」と述べられている。また第5文(They had been ...)後半で「(彼女たち[娘たち]は)カナダのおばあちゃんやおじいちゃんと一緒に時間を過ごすことが大好きになった」とあることから実際に一緒に暮らすようになったことがわかるので、「サムの母親と父親は」に続くのは、①「サムとヒロコと子どもたちが自分たちと一緒に住むことを認めた」ということになる。

その他の選択肢については、本文中で述べられていない。

- 問4 **39** 正解①  
 「**39**に入れるのに最も適切な選択肢を選びなさい」

- ① 彼女と一緒にカナダへ戻るという彼の計画を受け入れた  
 ② 彼女が彼に2人の子どもについてのよい知らせを伝えた  
 ③ 彼女が彼に彼の父親はすぐによくなるだろうと言った  
 ④ 彼女が彼に自分はもう1つ小説を出版したと言った

正解は①。第5ブロック最後の2文(That night, Sam ... To his delight, ...)に「その夜、サムは東京のヒロコに電話し、彼女に自分の考えを伝えた。嬉しかったことに、ヒロコは同意した」と述べられているが、「自分の考え」とは第5ブロックで述べられている旧友3人とのやりとりから、「(家族で)一緒にカナダへ戻る」ことであると判断でき、そのサムの発言に「嬉しかったことに、ヒロコは同意した」とあるので、正解は①となる。

その他の選択肢については、本文中で述べられていない。

- 問5 **40** 正解②  
 「**40**に入れるのに最も適切な選択肢を選びなさい」

- ① 彼の子どもたちは新しい学校生活に慣れていない  
 ② 彼の家族と一緒にいる多くの時間を逃してしまっていた  
 ③ 彼の父親がまだ病気で、退院することができない  
 ④ 彼の妻がカナダでの生活をもはや楽しんでいない

正解は②。第6ブロック最終文(When Sam saw ...)で「家族と一緒にいるところを見た時、サムは、もっと早くこうすることを考えなかったのは残念だと思った」と述べられているが、「こうすること」とはここまでの内容から「(サムの両親を含めて)家族と一緒にいること」であるとみなせるので、正解は②ということになる。

その他の選択肢については、本文中で言及されている箇所はない。

主な語句・表現

[リード文]

・問題冊子を参照のこと。

◇ presentation 図「発表」

◇ take a note 「メモを取る」

[第1ブロック]

◇ half asleep 「寝ぼけている」

◇ a couple of ... 「2, 3の…; いくつかの…」

(The phone rang, ...)

◇ book 動「…を予約する」

◇ get well 「よくなる; 快復する」

[第2ブロック]

◇ Not only did he not want to - 「-したくなかったばかりでなく」 Not only 「…ばかりでなく」は否定の副詞句であるため、後には倒置の形(疑問文の語順)が続いている。

◇ decide on ... 「…について決める」



解答

問1 - ②	(2点)
問2 - ②	(3点)
問3 - ②・③	(順不同・両方正解で3点)
問4 - ④	問5 - ③ (各3点)

出典

Original Material

全訳

あなたは、ある健康に関するウェブサイトから得た以下の情報を使って、理科の授業のための発表の準備をしています。

食物繊維—忘れられたヒーロー

健康の専門家はいつも私たちに果実や野菜をもっと多く食べるように勧めている。こうした食べ物には、自分たちの身体を健康に保つのにきわめて重要である多種多様なビタミンやミネラルや栄養素が含まれていることを私たちは知っている。しかし、果実や野菜の摂取を促す他の理由の1つは、それらには食物繊維が含まれているということである。実際のところ、私たちは身体が必要としている食物繊維を果実や野菜やその他の植物性食品を通してしか得ることができない。肉や魚や乳製品といった他の食べ物にも多くの栄養素は含まれているが、それらには食物繊維はまったくのところ欠けているのである。

西洋諸国では、食物繊維の摂取が減少した一方で、加工食品の消費が増加した。自分自身と家族のために新鮮な材料から時間をかけて食事を作ることは忙しい人々にとっては難しいので、既製食品に頼る人々がますます増えている。イギリス国民保健サービスによれば、平均的な成人は毎日少なくとも30gの食物繊維を摂るべきである。しかし、研究が示すところでは、現在の平均は20gだけである。残念なことに、食事において食物繊維が不足すると、多くの健康上の問題につながる可能性がある。

2種類の主要な食物繊維—水溶性食物繊維と不溶性食物繊維—があることに注意しておくことは重要である。各種の果実や野菜には異なる量のそれぞれの食物繊維が含まれている。水溶性食物繊維は液体に溶けて、消化器系の内部でゼリー状の物質を形成する食物繊維である。このゼリー状物質は身体そのものによっては吸収されず、私たちの中にいるバクテリアによって食糧として用いられる。これらのバクテリアは、消化ばかりでなく、脳の健康においても非常に重要な役割を果たしている。なぜなら、これらのバクテリアはある種の化合物を放出し、それが私たちの神経系においてシグナル伝達化学物質として働くからである。最近の証拠が示唆するところでは、水溶性食物繊維の摂取が増えると、アルツハイマー病といった脳の病気を発症するリスクが低くなる可能性がある。ものを食べる時、私たちは自分たちが必要としているものばかりでなく、自分たちの「優秀な」腸バクテリアが必要としているものものことも考えるべきである。

水溶性食物繊維はまた私たちが摂取する脂肪分と糖分の吸収を防いだり、遅らせたりもする。これはつまり、水溶性食物繊維をより多く摂取することによって、私たちは食事の後で大量の脂肪分と糖分が血流の中へ急に入って来ないようにすることができるということである。長期にわたる血糖の急激な増加は最終的に糖尿病を引き起こす可能性がある一方で、脂肪分とコレステロールを取りすぎると心臓病につながることもある。脂肪分と糖分の摂取量を減らすことで、体重増加は鈍化する。体重が増えすぎるとはまた高血圧や関節痛を引き起こす可能性がある。水溶性食物繊維はすべての植物性食品の中に見出されるが、特にオーツ麦や豆類やニンジンの中に多く見出される。

◇ It was just Sam who ... は just Sam を強調する強調構文だが、人を強調しているので、that の代わりに who が用いられている。

◇ suggest 動「…を提案する；…を勧める」 ◇ dormitory 図「寮；寄宿舎」

◇ apply (for ...) 「(…に) 応募 [志願] する」

[第4ブロック]  
(That was 15 ...)

◇ home 図「本拠地；故郷」

◇ teach oneself to - 「-することを独学で学ぶ」

◇ international party 「国際交流パーティー」

◇ have several novels published 「いくつかの小説が出版される」 have O p.p. は「O が-してもらい [される]」という意味を表す構文。

◇ consider -ing 「-することを考える」

[第5ブロック]  
(Back in Canada,  
...)

◇ meet up with ... 「…と (約束して) 会う」 ◇ teacher's certificate 「教員免許」

◇ right away 「すぐに」 ◇ article 図「記事」

◇ plenty of ... 「たくさんの…」 ◇ for free 「ただで；無料で」

◇ paperwork 図「文書 [書類] 業務」

◇ to one's + 感情を表す名詞 「人が…したことには」

[第6ブロック]  
(Sam returned  
to ...)

◇ remotely 圖「リモートで；遠く離れて」 ◇ thanks to ... 「…のおかげで」

◇ it is a shame (that) ... 「…ことは残念である」

[第7ブロック]  
(Sam's school  
was ...)

◇ drop by ... 「…に立ち寄る」 ◇ why don't we ...? 「…しよう」

◇ hold a party 「会を開く」

◇ It's thanks to you that ... は、thanks to you という副詞句を強調した強調構文。

[メモ]

◇ outline 図「概略」 ◇ nationality 図「国籍」

◇ occupation 図「職業」 ◇ interpretation 図「説明」

◇ key 図「重要な」

[設問文・選択肢]

◇ rearrange 動「…を並び替える」

◇ they happened は直前の the order 「順番」にかかる関係副詞節。

◇ allow O to - 「O が-することを認める」 ◇ document 図「文書」

◇ Hiroko needed 以下は直前の the documents を先行詞とする関係代名詞節だが、関係代名詞自体は目的格であるために省略されている。

◇ advertise 動「…を宣伝する」 ◇ settle into ... 「…に慣れる；…に落ち着く」

◇ miss out on ... 「〈楽しみなど〉を逃す」 ◇ not ... anymore 「もはや…ない」

一方、不溶性食物繊維は身体の中で分解されることはまったくなく、水分の中に溶けていかない。不溶性食物繊維は物理的な物質であり、私たちの消化器系を通過して移動し、掃除する。この食物繊維は水分を引きつけ、消化過程の他の老廃物に固着し、最終的にトイレを使用するときに排出する老廃物を形成するのに役立つ。それは私たちが定期的にトイレを使用することを助け、胃の痛みや不快感を予防し、有害な老廃物が消化器系内にあまりにも長く留まるのを防いでくれる。不溶性食物繊維がなければ、腸がんといった消化器系のがんを発症する可能性がより高くなるだろう。こうしたがんは世界中の若者の間でも増加しつつあり、その1つの理由は私たちの食事に不溶性食物繊維が不足しているからかもしれない。不溶性食物繊維の摂取量を増やすために、私たちはナッツ類やリンゴやジャガイモといった食物を食べるべきである。リンゴやジャガイモの皮を食べることは、この種の食物繊維をさらに多く摂取することに役立つ。

両方の種類の食物繊維の摂取量を増やすことには多くの重要な利点があるが、あまりにも摂りすぎることがもたらす悪影響もいくつかある。まず第一に、食物繊維の摂取量を急激に増やす人々はガスや胃痛に悩むことになるかもしれない。これは、消化器系内に存在している細菌が食物繊維を分解するときに、ガスを生み出すからである。消化器系内のガスの圧力が痛みを伴うのかもしれない。第二に、食物繊維は水分と結合するので、十分な水分を摂らないと、脱水状態になることもある。そのせいで、定期的に老廃物を除去することが困難になりかねない。最後に、食物繊維は栄養素の吸収を鈍化させるので、食物繊維を摂りすぎた場合、身体が必要とする栄養素を吸収できなくなる可能性がある。

食物繊維を摂りすぎることにはリスクはあるものの、それはほとんどの人々においては発生する可能性は低い問題である。約90%の人々は十分な食物繊維を摂っていないので、一般的なアドバイスは、すべての人は果実や野菜や豆類やナッツ類の摂取量を増やすようにするということになる。

発表用スライド：

<p>食物繊維： 忘れられたヒーロー</p> <p style="text-align: right;">1</p>	<p>特徴</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水溶性食物繊維</th> <th>不溶性食物繊維</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>水分に溶ける</li> <li>41</li> <li>吸収されない</li> <li>細菌にとっての食糧</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>水分を引きつける</li> <li>老廃物と結合する</li> <li>消化器系を掃除する</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">2</p>	水溶性食物繊維	不溶性食物繊維	<ul style="list-style-type: none"> <li>水分に溶ける</li> <li>41</li> <li>吸収されない</li> <li>細菌にとっての食糧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水分を引きつける</li> <li>老廃物と結合する</li> <li>消化器系を掃除する</li> </ul>
水溶性食物繊維	不溶性食物繊維				
<ul style="list-style-type: none"> <li>水分に溶ける</li> <li>41</li> <li>吸収されない</li> <li>細菌にとっての食糧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水分を引きつける</li> <li>老廃物と結合する</li> <li>消化器系を掃除する</li> </ul>				
<p>食物繊維摂取の健康上の利益</p> <p>食物繊維の摂取を推奨される量まで増加させることは 42 可能性がある。</p> <p>A. 糖尿病のリスクを低下させる</p> <p>B. 体重増加という結果を招く</p> <p>C. 脳の病気を予防する</p> <p>D. トイレを定期的に使用するようになる</p> <p>E. がんを発症するリスクを減らす 3</p>	<p>食物繊維を摂りすぎることの副作用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>43</li> <li>脱水症状</li> <li>44</li> </ul> <p style="text-align: right;">4</p>				

<p>腸バクテリア</p> <p style="text-align: center;">45</p> <p style="text-align: right;">5</p>	<p>最終的な意見</p> <p style="text-align: center;">46</p> <p style="text-align: right;">6</p>
---	---

設問解説

問1 41 正解 ②

「スライド2での水溶性食物繊維の2つ目の特徴は何か」 41

- ① 脂肪分と糖分の吸収を高める
- ② ゼリー状の物質を形成する
- ③ 消化を早める
- ④ シグナル伝達化学物質として機能する

正解は②。第3段落第3文 (Soluble fiber is ...) で「水溶性食物繊維は液体に溶けて、消化器系の内部でゼリー状の物質を形成する」と述べられていることから、正解は②となる。

①、③に関しては、水溶性食物繊維の特徴として本文で述べられている内容ではないので不可。④に関しては、第3段落第6文 (That is because ...) において「なぜなら、これらの細菌はある種の化合物を放出し、それが私たちの神経系においてシグナル伝達化学物質として働くからである」と述べられているように、シグナル伝達化学物質として働くのは細菌が放出する化合物であり、水溶性食物繊維自体ではないことがわかるので不可。

問2 42 正解 ②

「スライド3であなたが見つけた間違いはどれか」 42

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

正解は②。第4段落 (Soluble fiber also ...) では、水溶性食物繊維は脂肪分と糖分の吸収を防いだり、遅らせたりし、そのようにして脂肪分と糖分の摂取量が減れば体重増加は鈍化する、ということが述べられている。食物繊維の消費を増加させることは、脂肪分と糖分の摂取量が減ることになるので体重増加にはつながらないと判断できるので、Bが間違いで、したがって②が正解だとわかる。

①のAに関しては、第4段落第3文 (Sharp rises in ...) で糖尿病に関して「長期にわたる血糖の急激な増加は最終的に糖尿病を引き起こす可能性がある」と述べられているが、上でも触れたように、水溶性食物繊維は脂肪分と糖分の吸収を防ぎ、遅らせる働きがあるので糖尿病を引き起こす可能性が低くなると判断できるので、本文の内容に合致している。

③のCに関しては、第3段落第7文 (Recent evidence suggests ...) で「最近の証拠が示唆するところでは、水溶性食物繊維の消費が増えると、アルツハイマー病といった脳の病気を発症するリスクが低くなる可能性がある」と述べられていることから、本文の内容に合致している。

④のDに関しては、第5段落第3文 (It attracts water ...) ~第4文 (It helps us ...)

で「この食物繊維は水分を引きつけ、消化過程の他の老廃物に固着し、最終的にトイレを使用するときに排出する老廃物を形成するのに役立つ。それは私たちが定期的にトイレを使用することを助け、胃の痛みや不快感を予防し、有害な老廃物が消化器系内にあまりにも長く留まるのを防いでくれる」と述べられていることから、本文の内容に合致している。

⑤のEに関しては、第5段落第5文(Without insoluble fiber, ...)～第6文(These cancers are ...)で「不溶性食物繊維がなければ、腸がんといった消化器系のがんを発症する可能性がより高くなるだろう。こうしたがんは世界中の若者の間でも増加しつつあり、その1つの理由は私たちの食事に不溶性食物繊維が不足しているからかもしれない」と述べられていることから、本文の内容に合致している。

問3 43・44 正解②・③

「スライド4に入る2つの選択肢を選びなさい(順番は問わない)」 43・44

- ① 有益な腸バクテリアの死滅
- ② 十分な栄養素を摂取できないこと
- ③ 胃の痛みや不快感
- ④ 老廃物内の水分が多すぎる
- ⑤ トイレを使用する回数が多すぎる

正解は②と③。②に関しては、第6段落最終文(Finally, because fiber ...)で「最後に、食物繊維は栄養素の吸収を鈍化させるので、食物繊維を摂取しすぎた場合、身体が必要とする栄養素を吸収できなくなる可能性がある」と述べられていることから、②が正解の1つとなることがわかる。③に関しては、第6段落第2文(First, people who ...)で「まず第一に、食物繊維の摂取量を急激に増やす人々はガスや胃痛に悩むことになるかもしれない」と述べられていることから、③がもう1つの正解となることがわかる。

①、⑤に関しては、本文で述べられている内容ではないので不可。

④に関しては、第6段落第5文(Second, because fiber ...)～第6文(This can make ...)で「第二に、食物繊維は水分と結合するので、十分な水分を摂らないと、脱水状態になることもある。そのせいで、定期的に老廃物を除去することが困難になりかねない」と述べられているが、この内容に合致しないので不可。

問4 45 正解④

「スライド5として、私たちの消化器系に存在するバクテリアについてどういったことが言えるか」 45

- ① 不溶性食物繊維をあまりに多く摂りすぎるとはバクテリアが成長する原因となり、それが西洋諸国の若者におけるがんの発症を引き起こす可能性がある。
- ② 私たちが間違った種類の食物繊維を摂取しないことが重要であるのは、それがあまりに多くのバクテリアが成長し、ガスを生み出す原因になるからだ。
- ③ 私たちがあまりに多くの食物繊維を避けるべきであるのは、それがアルツハイマー病のような病気を引き起こすかもしれない悪いバクテリアが腸内で成長することを助長するからだ。
- ④ 私たちが腸バクテリアに食物繊維を与えるべきであるのは、腸バクテリアが食物を分解し、重要な化学物質を生み出すからだ。

正解は④。第3段落第3文(Soluble fiber is ...)～第6文(That is because ...)において、水溶性食物繊維はゼリー状の物質を形成し、この物質が体内のバクテリア、すなわち腸バクテリアの食糧となり、このバクテリアは私たちが食べる物の消化を助け、ある種の化合物を放出し、それが私たちの神経系においてシグナル伝達化学物質として働く、ということが述べられている。よって正解は④であるとわかる。

①、②、③に関しては、本文で述べられている内容ではないので不可。

問5 46 正解③

「スライド6に入る、最も適切な意見を選びなさい」 46

- ① すべての人が植物性食品の摂取を増やすべきであるが、野菜の皮は有害な食物繊維を含んでいるので、常に皮をむくべきだ。
- ② すべての人々が多量の食物繊維に耐えられるわけではないので、人々は食事を変える前には医者に相談するべきである。
- ③ ほとんどの人々は十分な食物繊維を摂取していないので、私たちは発生しうる悪影響のことは考慮せず、両方の種類の食物繊維の消費を増やすべきである。
- ④ 食物繊維が脳の健康を支援するというを示唆する証拠はないが、中には食物繊維が若者におけるがんのリスクを減らす可能性があると言う人々もいる。
- ⑤ 私たちは、水溶性食物繊維を含んでいる食品を選ぶべきであるが、健康上のリスクがあるために不溶性食物繊維を含む食品は避けるべきである。

正解は③。第6段落第1文(Although there are ...)の前半では「両方の種類の食物繊維の摂取量を増やすことには多くの重要な利点があるが、あまりにも摂りすぎることがもたらす悪影響もいくつかある」と述べられているが、最終段落第1文(Despite the risks ...)で「食物繊維を摂りすぎることにはリスクはあるものの、それはほとんどの人々においては発生する可能性は低い問題である」と述べられていることから、この文章の最終的な意見としては③が最も適切な選択肢であると判断できる。

①、②、④、⑤に関しては、本文で述べられている内容ではないので不可。

主な語句・表現

[リード文]

◇ presentation 図「発表」 ◇ science class 「理科の授業」

[第1段落]

(Health experts ...)

◇ dietary fiber 「食物繊維」  
 ◇ encourage O to - 「O が-することを勧める [促す]」  
 ◇ a large variety of ... 「たくさんの種類の…; 多種多様な…」  
 ◇ nutrient 図「栄養物; 栄養素」 ◇ vital 図「きわめて重要な; 必要不可欠な」  
 ◇ consumption 図「摂取; 消費」 ◇ plant-based food 「植物性食品」  
 ◇ dairy product 「乳製品」

[第2段落]

(In Western countries, ...)

◇ intake 図「摂取」 ◇ processed food 「加工食品」  
 ◇ ingredient 図「(主に料理の) 材料」 ◇ ready-made food 「既製食品」  
 ◇ lead to ... 「…につながる; …を引き起こす」 ◇ numerous 図「多くの」

[第3段落]

(It is important ...)

◇ note that ... 「…に注意する; …を覚えておく」  
 ◇ soluble 図「水溶性の」 ⇔ insoluble 図「非水溶性の」  
 ◇ dissolves in ... 「…に溶ける」 ◇ liquid 図「液体」  
 ◇ gel 図「ゼリー状の物質」 ◇ digestive system 「消化器系」  
 ◇ absorb 図「…を吸収する」 ◇ bacteria 図「バクテリア; 細菌」  
 ◇ digestion 図「消化」 ◇ release 図「…を放出 [排出] する」  
 ◇ compound 図「化合物」 ◇ signaling chemical 「シグナル伝達化学物質」  
 ◇ develop diseases of ... 「…の病気を発症する」  
 ◇ Alzheimer's disease 「アルツハイマー病」 ◇ gut bacteria 「腸バクテリア; 腸細菌」

[第4段落]

(Soluble fiber also ...)

◇ absorption 図「吸収」 ◇ fat and sugar 「脂肪分と糖分」  
 ◇ stop O from -ing 「O が-することを止める」  
 ◇ high amounts of ... 「多量の…」 ◇ blood stream 「血流」

- ◇ blood sugar 「血糖」
- ◇ high blood pressure 「高血圧」
- ◇ oats ㊦ 「オーツ麦」
- ◇ diabetes ㊦ 「糖尿病」
- ◇ joint ㊦ 「関節」
- ◇ physical material 「物理的な物質」
- ◇ waste (product) 「老廃物」
- ◇ skin ㊦ 「(野菜などの) 皮；皮膚」
- ◇ break down ... 「…を分解する」
- ◇ stick to ... 「…に固着する；…にくっつく」
- ◇ prevent O (from) -ing 「O が-することを防ぐ [妨げる]」
- ◇ intestinal cancer 「腸がん」
- ◇ negative effect 「悪影響」
- ◇ bind to ... 「…と結合する」
- ◇ get rid of ... 「…を除去する」
- ◇ benefit ㊦ 「利点；利益」
- ◇ suffer from ... 「…で苦しむ；…に悩む」
- ◇ dehydrated ㊦ 「脱水状態の」
- ◇ take in ... 「…を摂取する」
- ◇ recommend... 「…を推奨する」
- ◇ enhance ㊦ 「…を高める」
- ◇ inability to - 「-することができないこと」
- ◇ cause O to - 「O が-する原因となる」
- ◇ feed A with B 「A に B (食料・餌など) を与える」
- ◇ peel ㊦ 「… (の皮) をむく」
- ◇ dehydration ㊦ 「脱水 (症状)」
- ◇ substance ㊦ 「物質」
- ◇ harmful ㊦ 「有害な」

[第5段落]  
(Insoluble fiber,  
on ...)

[第6段落]  
(Although there  
are ...)

[最終段落]  
(Despite the ...)  
[設問文・選択肢]

第2回

実戦問題 解答・解説